

My City Kawaguchi マイシティかわぐち



4/28(日)

第18回川口芝川鯉のぼり祭り

4月14日～5月6日、芝川さくら橋で開催。4月28日には、青空を泳ぐ鯉のぼりの下、地元団体による力強い初午太鼓が披露されました。



4/29(祝)

第32回グリーンロード・ウォーキング

戸塚安行駅からスタートし、川口緑化センター、万葉植物苑、興禅院、花と緑の振興センター、赤山城跡をめぐる約10キロのコース。安行東中学校の皆さんも受付や誘導、演奏などで大いに活躍し、参加者は緑と歴史の里をめぐるウォーキングを楽しみました。



5/5(祝)

第31回みどりの地球号in安行

安行スポーツセンターで開催。苗木の無料配布やふれあい動物園など多くのイベントが行われ、来場者は楽しいひとときを過ごしました。



5/3(祝)～6(振)

スプリングフェア2019

グリーンセンターで開催。4日間で26,000人を超える来園者が、ロードトレインやステージイベント、こどもまつりなどたくさんのイベントを楽しみました。





みんなでつくる 川口の元気

vol.56

みなさん、こんにちは。

今回は自然環境対策についてお話しします。私たちの生活は、さまざまな経済活動などにより便利になりましたが、これらの影響を受け、生物の生態系は地球温暖化やマイクロプラスチックによる海洋汚染といった、多くの課題に直面しています。

私はこうした事態を憂慮し、本市においても自然環境保護への取り組みの必要を強く感じたことから、この4月に自然保護対策室を設置しました。今後、市内動植物の生態系調査を行うなど、地域の環境条件に応じた保護対策を講じていきます。

幸い本市は、都心からわずかな距離に位置しながら、見沼田んぼや荒川などの河川敷、斜面林や緑農地など、昆虫をはじめとする小さな生き物が生息できる環境がまだ残っています。

私は子どもの頃からそうした小さな生き物に親しんできましたが、未来の子どもたちにもこの自然環境を残してあげたいと思っています。そのため、生態系調査の一環として、市内のいくつかの池に入って現状を確認しました。また、小学校のプールで子どもたちと一緒にヤゴを採集し、イイナパーク川口のトンボ池に放す取り組みも行います。そのヤゴがトンボとなって飛んでいるのを見た時、子どもたちもきっと自然環境保護に関心を持ってくれると思います。

ほかにも、プラスチックごみ削減に向けた対策として、市のイベントで提供するうちわを、プラスチック製から竹製などに切り替えたり、啓発用品のプラスチック使用を極力控

えるなど、身近なところから自然環境に配慮したまちづくりを推進していきます。皆さんもぜひできることから始めてみてください。



イイナパーク川口のトンボ池での生態系調査の様子

川口の自然環境をこれからも守っていくために

川市長 奥ノ本信夫



5/12(日) 第37回芝のふるさとまつり

芝スポーツセンターで開催。子どもみこしや小動物ふれあいコーナーのほか、芝の歴史探検など楽しみながら学べる催しが行われ、多くの家族連れでにぎわいました。



5/18(土) 第1回川口花火大会

荒川運動公園で開催。初午太鼓や音楽とのコラボレーションなど、総数約7,000発の花火が川口の夜空を彩りました。来場者は、熱気溢れる太鼓のリズムと光り輝く大輪の華に歓声を上げていました。